

日本植物分類学会

第22回大会 案内

会期／2023年3月1日～5日

会場／オンライン & 千葉大学

[大会日程]

日付	時間	内容	場所・形式
3/1 水	12:50~13:00	開会の挨拶＋参加方法の説明	Zoom
	13:00~13:45	ポスター発表コアタイム（PA01~PA11）	LINC Biz + Zoom
	13:45~14:00	フリータイム	Zoom
	14:00~14:45	ポスター発表コアタイム（PA12~PA22）	LINC Biz + Zoom
	14:45~15:00	フリータイム	Zoom
	15:00~15:45	ポスター発表コアタイム（PG01~PG15）	LINC Biz + Zoom
	15:45~16:00	フリータイム	Zoom
	16:00~16:45	ポスター発表コアタイム（PG16~PG29）	LINC Biz + Zoom
	16:45~17:00	フリータイム	Zoom
	17:00~	ポスター交流会	Zoom
3/2 木	終日	移動日	
	14:00~16:00	編集委員会	千葉大学
	16:00~19:00	評議委員会	千葉大学
3/3 金	09:55~10:00	開会挨拶	千葉大学（+Zoom 配信）
	10:00~18:00	口頭発表（発表賞対象 A01~A23、一般 A24~A25）	千葉大学（+Zoom 配信）
3/4 土	09:30~14:00	口頭発表（一般 B01~B13）	千葉大学（+Zoom 配信）
	14:15~17:30	総会・各種授賞式・受賞講演	千葉大学（+Zoom 配信）
	18:00~20:00	懇親会	千葉大学
3/5 日	09:30~12:45	口頭発表（一般 C01~C12）	千葉大学（+Zoom 配信）
	14:00~17:00	公開シンポジウム「今身近な自然に迫る危機」	千葉大学（+Zoom 配信）

大会の諸案内

●開催形態

ポスター発表およびポスター交流会は、3月1日に完全オンラインでの開催とします。3月3日～5日には、口頭発表や総会、授賞式、受賞講演、懇親会、公開シンポジウムを千葉大学西千葉キャンパスで現地開催いたします。ただし、口頭発表や総会、授賞式、受賞講演、公開シンポジウムについては、Zoomにて配信を行ないますので、オンラインでの視聴も可能です。（配信のみのため、リモートでの発表はできません）。

●会場

千葉大学西千葉キャンパス けやき会館
JR 中央・総武線の西千葉駅、あるいは京成線みどり台駅から徒歩 10 分（次ページの地図参照）

●当日参加

当日に千葉大学けやき会館の受付で参加費を支払っていただくことで参加いただけます。当日参加では LINC Biz のアカウント発行はされませんので、オンラインポスターの閲覧はできません。参加費は、以下のとおりです。当日参加での懇親会申込みについては、コロナ対策のために、人数制限を行なう場合があります。

	一般	大学院生	学部生以下
大会参加費	5,500 円	3,500 円	無料
懇親会費	8,000 円	5,000 円	5,000 円

●発表要領（詳細は大会 HP「発表の手引き」を参照）

ポスター発表（LINC Biz + Zoom）

LINC Biz (<https://getlincbiz.jp/>) を用い、オンライン上でのポスターのアップロード・閲覧・チャット機能を使って、発表と質疑応答を行ないます。発表者には事前に LINC Biz に招待しますので 2 月 28 日（火）までにアップロードをお願いします。3月1日（水）の発表コアタイムには Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いたオンライン発表を予定しています。各発表に割り振られたルームにてポスターの説明と質疑応答をお願いします。LINC Biz は会期中および大会終了後の 3 月 14 日（火）まで稼働しますので、ご活用ください。

ポスター参加形態

ポスター発表に際しては、発表者・参加者の方とも、インターネットに接続できるパソコン等の環境が必要です。Zoom ならびに LINC Biz による大会参加方法詳細の資料を 2 月末に大会ホームページへアップロードする予定です。発表者、参加者ともに、最新版の Zoom ソフトウェアへのアップデートをお願いします。

ポスター交流会

3 月 1 日（水）の 17:00 から、Zoom ミーティングを「ポスター交流会」の会場として開放します。ブレイクアウトルームを作成しておきますので、自由な交流の場としてご利用ください。

口頭発表

口頭発表は、会場に用意した Windows PC で行なってもらいます（この PC を通じて Zoom での配信を行ないます）。発表に用いるプレゼンテーションファイルは PDF で用意していただき、下記の要領で事前にファイルを大会実行委員会に預けてください。

各講演のファイルの提出期限と提出場所

講演番号	提出期限	提出先
A01-A10	3 月 2 日 17:00	Google Forms
A11-A25	3 月 3 日 12:00	会場受付（現地）
B01-B10	3 月 3 日 17:00	会場受付（現地）
B11-B13	3 月 4 日 12:00	会場受付（現地）
受賞講演	3 月 4 日 12:00	会場受付（現地）
C01-C12	3 月 4 日 17:00	会場受付（現地）

※Google FormsのURLは該当者にメールにて連絡します。

口頭発表の講演時間（トーク）は 12 分 です。

14 分 30 秒 になったら演者を交代するよう

お願いいたします。プログラム上は、持ち時間が 15 分ですが、スムーズな進行にご協力をお願いします。

10 分で 1 鈴、12 分で 2 鈴、14 分 30 秒で 3 鈴を
鳴らします。

●色覚バリアフリー

発表資料の作成にあたっては、バリアフリープレゼンテーションに関する以下のサイトをご覧ください。

<http://cudo.jp/cbf/>

<https://tsutawarudesign.com/universal1.html>

http://cudo.jp/wp-content/uploads/2018/10/cud_guidebook.pdf

●総会

総会はハイブリッド形式で開催します。評決にはオンライン参加が可能です。Zoom ミーティングで挙手をしていただき、現地会場の票と合計します。

●授賞式・受賞講演・公開シンポジウム

授賞式・受賞講演は Zoom ミーティング、公開シンポジウムは Zoom ウェビナーで配信します。授賞式については WEB カメラを用いて会場舞台の様子を配信します（映像の乱れなど、ご了承ください）。

●懇親会

3月4日（土）18:00～20:00 に、千葉大学生協のフードコート（会場に隣接）で行ないます。

●昼食について

本大会ではお弁当の提供はありません。3月3日（金）は、千葉大学生協のフードコートが利用できますが、4日（土）・5日（日）については西千葉キャンパス周辺の飲食店・コンビニをご利用いただくようお願いいたします。持参したお弁当は、指定された部屋（休憩室1：レセプションホール）で、お召し上がりください。

●オンライン休憩室

3月1日のポスター発表の時間帯に、発表会場となるブレイクアウトルームとは別に、交流の場として休憩室用のブレイクアウトルームを設置します。

●編集委員会・評議委員会

編集委員会と評議委員会は、3月2日（木）に以下の通りオンサイトで開催されます（右地図参照）。

編集委員会（14:00～16:00）

場所：千葉大学西千葉キャンパス 理学部 4号館
1階 マルチメディア講義室 1（129号室）

評議委員会（16:00～19:00）

場所：千葉大学西千葉キャンパス 理学部 4号館
2階 マルチメディア講義室 2（229号室）

●公開シンポジウム

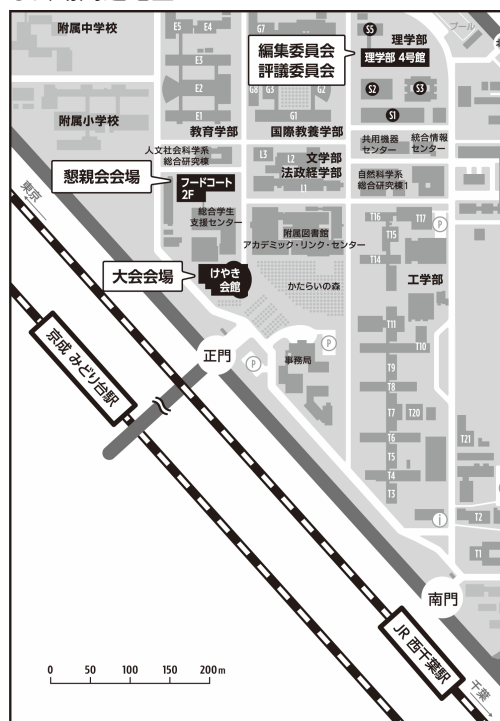
大会最終日の3月5日14:00～17:00に、公開シンポジウム「今身近な自然に迫る危機」を開催いたします。非会員の方も無料でご参加いただけますので、関係の方々にもぜひご周知をよろしくお願いいたします。

大会と同じく千葉大学けやき会館大ホールで行なわれます。Zoom ウェビナーにて配信もいたします。現地参加される方は、事前参加申込等は不要です（会場の受付での記名のみ）。オンラインで参加される方は、大会ウェブページ（<https://jsps22.e-jsp.com/symposium/>）の参加申込フォームよりお申込み下さい。第22回大会の事前参加申込みをされた方も、オンラインで公開シンポジウムに参加する場合は、別途申込みが必要ですのでご注意ください。

申込締切りは、2023年3月4日（土）の正午です。締め切り後、電子メールにて参加用 Zoom ウェビナー ID とパスワードをお知らせいたします。

公開シンポジウムの詳細は、本プログラム末尾と大会ウェブページをご覧ください。

●会場周辺地図



●問い合わせ先

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学理学部生物学科 多様性生物学研究室内

日本植物分類学会 第22回大会実行委員会(朝川毅守)

E-mail: jsps2023chiba@gmail.com

ポスター発表／発表賞対象（コアタイム 3月1日（水）13:00～13:45）

※12:50-13:00 に開会の挨拶と参加方法の説明を行ないます。

PA01 接合藻類ヒザオリ類ムウゲオチエラ属 (*Mougeotiella*) の1種の接合形態と系統的位置

高野智之*（東大・院・理）・野崎久義（東大・院・理・国環研・生物多様性）・土松隆志（東大・院・理）・坂山英俊（神戸大・院・理）

PA02 愛知県新城市におけるシダ植物リボン状配偶体フロラ

太田さくら*（愛教大・生物）・古閑優月（愛教大・生物）・常木静河（愛教大・生物）・芹沢俊介（愛知みどりの会）

PA03 The phylogenetic reconstruction of the Neotropical cycad genus *Ceratozamia* (Zamiaceae) reveals disparate patterns of niche evolution

GUTIERREZ-ORTEGA Jose Said*（理研・iTHEMS）・PEREZ-FARRERA Miguel Angel（UNICACH, Mexico）・松尾 歩（東北大・農学）・佐藤光彦（かずさ DNA 研究所・先端研究開発）・陶山佳久（東北大・農学）・CALONJE Michael（Montgomery Botanical Garden, USA）・VOVIDES Andrew（INECOL, Mexico）・梶田 忠（琉球大・熱帯生物圏・西表研）・綿野泰行（千葉大・院・理）

PA04 ジャノヒゲ属（クサスギカズラ科）の系統と栄養器官の進化

新宅和憲*（京都大・院・理・植物）・Sawita Yooprasert（タイ・BKF）・Sukontip Sirimongkol（タイ・BKF）・Manop Poopath（タイ・BKF）・Rachun Pooma（タイ・BKF）・Yang Yong-Ping（中国科学院・昆明植研）・Pu Fading（中国科学院・成都生研）・田金秀一郎（鹿児島大・博物館）・矢原徹一（九州オープンユニバーシティ）・高橋晃太郎（京都大・院・理・植物）・布施静香（京都大・院・理・植物）・田村 実（京都大・院・理・植物）

PA05 ため池減水裸地に優占するカヤツリグサ属植物に関する分子系統学的解析

原田泰地*（東北大・理・生物）・藤井伸二（人間環境大・環境科学）・山城 考（徳島大・院・社会産業理工学）・田金秀一郎（鹿児島大総合研究博物館）・松尾 歩（東北大・農）・陶山佳久（東北大・農）・伊東拓朗（東北大・植物園）・牧 雅之（東北大・植物園）

PA06 隔離分布種ハクサンボクにおける分子系統地理学的解析

後藤祐奈*（東北大・理・生物）・伊東拓朗（東北大・植物園）・藤井伸二（人環大・環境）・加藤英寿（都立大・牧野標本館）・井上正隆（東京都小笠原支庁土木課）・柿嶋 聡（科博・分子センター）・堀江佐知子（東北大・植物園）・村上将希（東北大・院・生命）・田金秀一郎（鹿大・博物館）・牧 雅之（東北大・植物園）

PA07 日本産アジサイ属アジサイ節における異所的種分化過程の解明：いつ、どこで起きたか？

村上将希*（東北大・院・生命）・伊東拓朗（東北大・植物園）・上町達也（滋賀県立大・環境科学）・藤井伸二（人間環境大・環境科学）・松尾 歩（東北大・農）・陶山佳久（東北大・農）・牧 雅之（東北大・植物園）

PA08 カワゴケソウ科の特異な不定根の初期進化の解明

羽田野凌矢*（大阪公大・院・理）・Jean Paul Ghogue（カメルーン国立植物標本館）・加藤雅啓（科博・植物）・厚井 聡（大阪公大・院・理）

PA09 MIG-seq 解析を利用したオキナグサの分子系統地理学的研究

西藤大朗*（熊本大・院・自然科学）・陶山佳久（東北大・院・農）・松尾 歩（東北大・院・農）・藤井紀行（熊本大・院・先端科学）・池田 啓（岡山大・植物研）・岩崎貴也（お茶の水女子大・理）・副島顕子（熊本大・院・先端科学）

PA10 P/O 比と花形態から日本産ネコノメソウ属の種分化を考察する

日比野真子*（岐阜大・教・生）・須山知香（岐阜大・教・生）・高橋 弘（岐阜県植物研究会）

PA11 地域固有種に注目したスミレサイシン節の系統分化と集団動態の解明

高橋弥生*（お茶の水大・理）・藤原正人（小野高校）・尾関雅章（長野県環境保全研究所）・岩崎貴也（お茶の水大・理）

ポスター発表／発表賞対象（コアタイム 3月1日（水）14:00～14:45）

- PA12 ゲジゲジシダ類における異質倍数体化に伴う遺伝子発現レベルの変化**
相内 桜*（千葉大・理・生物）・片山なつ（千葉大・院・理）・藤原泰央（都立大・牧野）・綿野泰行（千葉大・院・理）
- PA13 水生植物ヤマトミクリとナガエミクリ及び種間交雑個体の形態変異と遺伝的変異**
阿部仁美*（新潟大・教育）・志賀 隆（新潟大・教育）
- PA14 尾瀬ヶ原で分布を広げる水生植物ヒツジグサの遺伝構造**
内藤芳香*（新潟大・院・自然）・岩崎貴也（お茶の水大・理）・加藤 将（新潟大・教育）・廣田 峻（大阪公立大・植物園）・陶山佳久（東北大・院・農）・志賀 隆（新潟大・教育）
- PA15 ヒロハテイショウソウとテイショウソウの気候変動に伴う異所的種分化**
生野一孝*（東北大・理・生物）・藤井伸二（人間環境大・環境科学）・山城 考（徳島大・社会産業理工）・柿嶋 聡（科博・分子セ）・村上将希（東北大・院・生命）・堀江佐知子（東北大・植物園）・伊東拓朗（東北大・植物園）・牧 雅之（東北大・植物園）
- PA16 高次倍数体を多く含むタンポポ属植物についての日本産種を中心とした分子系統解析**
毛利陽香*（お茶の水大・理）・龍見瑞季（大阪府大・院・理）・鈴木 武（兵庫県立博）・森田竜義（新潟大）・西野貴子（大阪公大・院・理）・伊藤元己（東京大）・岩崎貴也（お茶の水大・理）
- PA17 花蜜分泌様式と訪花生物からミカワマツムシソウの種分化を探る**
寺田安希*（岐阜大・教・理）・渡辺 蒔（京都大・院・人環）・立松和晃（岐阜大・連農・生環）・須山知香（岐阜大・教・理）
- PA18 東アジアで隔離分布する希少種ハコベマンネングサの種内系統解析**
蕪木史弦*（京都大・院・農）・伊東拓朗（東北大・植物園）・高橋大樹（東北大・院・農）・游旨价（中国科学院・西双版纳熱帯植物園）・陶山佳久（東北大・院・農）・井鷲裕司（京都大・院・農）
- PA19 バラ科シモツケ属の分子系統学・系統地理学的解析**
渡邊紅実*（東北大・院・生命）・藤井伸二（人環大・環境科学）・山城 考（徳島大・社会産業理工）・高橋大樹（東北大・農）・柿嶋 聡（科博・分子センター）・松尾 歩（東北大・農）・陶山佳久（東北大・農）・伊東拓朗（東北大・植物園）・牧 雅之（東北大・植物園）
- PA20 ネコノメソウ属ホクリクネコノメ群3種の同所的生育地における訪花昆虫調査**
山口万里花*（都立大・牧野）・米岡克啓（都立大・牧野）・片岡利文（都立大・牧野）・菊地波輝（都立大・動物系統）・吉田貴大（都立大・動物系統）・藤原泰央（都立大・牧野）・村上哲明（都立大・牧野）
- PA21 Investigating the Genetic Basis and Evolutionary Significance of Terpene Floral Scent Components in *Asarum* Sect. *Heterotropa***
Anna Valchanova（東大・理）, Yudai Okuyama（科博・植物園）, Satoshi Kakishima（科博・分子多様性センター）
- PA22 早朝に太陽の方を向くハマビシの開花習性**
氏林恒太*（大阪公大・院・理）・粕谷英一（大阪公大・院・理）・小林禧樹（兵庫県植物誌研究会）・長谷川匡弘（大阪自然史博）・西野貴子（大阪公大・院・理）

ポスター発表／一般（コアタイム 3月1日（水）15:00～15:45）

PG01 小石川植物園にあった竹笹園の植栽種

支倉千賀子*（東京農大・農・植物園）・田中徳久（生命の星・地球博）・山口 正（東大・院・理・附属植物園・育成部）・池田 博（東大・博物館）

PG02 牧野富太郎書簡（川崎正悦コレクション）から見える兵庫県との関わり

鈴木 武*（兵庫県博）

PG03 日本とタイ国に隔離分布するヤクシマオヤコゴケ（コケ植物）の種の独立性に関して

片桐知之*（高知大、服部植物研）・Sahut Chantanaorrapint（Prince of Songkla Univ.）・井上侑哉（科博、服部植物研）

PG04 日本産ユノミネシダの2つの進化学的種の倍数性とその分布

篠原 渉*（香川大・教育）・甲田龍太郎（東京都立大・牧野標本館）

PG05 兵庫県但馬地方で発見された新種の6倍体ノキシノブ

藤原泰央*（都立大・牧野）・丸岡道行（兵庫県）・岡 武利（日本シダの会）・村上哲明（都立大・牧野）・綿野泰行（千葉大・院・理）

PG06 愛知県豊橋市にグンバイヒルガオ *Ipomoea pes-caprae* (L.) Sweet の定着を確認

瀧崎吉伸*（愛知植物の会）・中西普佐子（愛知植物の会）

PG07 与論島及びトカラ列島に産するマンネングサ属の未記載分類群

伊東拓朗*（東北大・植物園）・柿嶋 聡（科博・分子セ）・横田昌嗣（琉球大・理）・國府方吾郎（科博・植物）・牧 雅之（東北大・植物園）

PG08 DNA バーコーディング法を用いた小笠原諸島におけるアカギの繁茂要因の調査

吉本賀永子*（千葉大・院・園芸）・川井絢子（千葉大・院・国際）・梅木 清（千葉大・院・園芸）・上原浩一（千葉大・院・国際）

PG09 MIG-seq 法を用いたマメ科ハギ属の系統解析

根本智行*（石巻専修大・理工・生物科学）・松尾 歩（GENODAS）・廣田 峻（大阪公立大・植物園）・陶山佳久（東北大・農）

PG10 南米産ペチュニア属植物を用いた自家和合性進化の系統地理的解析

佐藤陽太*（千葉大・院・園芸）・岩崎貴也（お茶の水女子大・基幹研究院）・陶山佳久（東北大・院・農）・上原浩一（千葉大・国際）

PG11 ケムシクサの分類学的再検討

三村昌史*（自然研）・根本秀一（福島大・共生システム理工）・青木雅夫（群馬県自然環境調査研究会）

PG12 三浦半島にみられるヤマアジサイとガクアジサイの交雑

山本薫*（横須賀市博）・柿嶋聡（科博・分子センター）・長谷川秀三（藤沢市）・堤 千絵（科博・植物）

PG13 喜界島固有種ヒメタツナミソウの系統的な位置付けと独自性

山本将也*（兵教大）・池上温人（奄美シダ研）・高橋大樹（東北大・農）・松原信之（喜教委）

PG14 絶滅危惧薬用植物の保全遺伝学的研究：ムラサキとセイヨウムラサキは交雑するのか!?

糸川紗由*（摂南大・薬）・伊藤 優（摂南大・薬）

PG15 小笠原諸島固有のシマザクラ属3種における遺伝的多様性と遺伝構造

田淵千捺（島根大・生物資源）・鈴木節子（森林総研）・葉山佳代・庄子恭平（小笠原環境計画研究所）・矢後勝也（東大・総研博）・加藤英寿（都立大・牧野標本館）・高山浩司（京大・院・理）・須貝杏子（島根大・農生命系）

ポスター発表／一般（コアタイム 3月1日（水）16:00～16:45）

- PG16 自然言語処理技術を用いた植物標本ラベルデータ自動抽出法の開発
高野温子*（兵庫県大/兵庫県博）・小長井元（Function Tales）
- PG17 近江の先駆的植物学者・橋本忠太郎(1886-1960)の足跡～コケ植物コレクションから～
小林亮平*（京大・院・理）・芦谷美奈子（琵琶博・植物）
- PG18 苔類カラヤスデコケ（*Frullania muscicola*）の葉緑体ゲノムの解析（予報）
長崎涼平*（広島大・理）・内田慎治（広島大・技セ）・井上侑哉（科博・植物，服部植物研）・坪田博美（広島大・院・統合生命）
- PG19 Investigation on the ploidy and morphological diversity of *Plagiogyria adnata* (Blume) Bedd. in Yakushima, Japan
Vasques, Diego T.*（東大・総合文化研究科）・中藤 成実（東大和市在住）・斉藤俊浩（屋久島在住）・海老原 淳（国立科学博物館・植物）
- PG20 カラマツ植林地における外生菌根菌の出現パターン
杉山賢子*・松岡俊将・館野隆之輔（京大・フィールド研）
- PG21 生態ニッチモデルを用いた沖縄県西表島における絶滅危惧植物の潜在分布域の推定
設楽拓人*（森林総研・多摩）・山本武能（琉球大・熱生研）・阿部篤志（沖縄美ら島財団）・内貴章世（琉球大・熱生研）
- PG22 高山植物チシマフウロは東アジアに起源しベーリンジアへと分布を拡大させた
倉田正観*（秋田県大・生物資源）・阪口翔太（京大院・人環）・池田 啓（岡山大・植物研）・廣田 峻（大阪公大・植物園）・倉島 治（科博・科学系博物館イノベーションセンター）・陶山佳久（東北大・農）・伊藤元己（東京大・駒場博物館）
- PG23 琵琶湖岸の希少生物保護区周辺で生じた攪乱にともなう動植物の種構成の変化
大槻達郎*（琵琶博）・武田 滋（滋賀むしの会）・西田謙二（滋賀県植物研究会）
- PG24 4 倍体キク科ヤマジノギク種群および近縁種の集団遺伝学的解析
中川さやか*（お茶の水大・IGL）・土畑重人（東京大・院・総合文化）・山崎皆実（熊本大・院・自然科学）・阪口翔太（京都大・院・人間環境）・倉田正観（秋田県大・生物資源）・伊東拓朗（東北大・植物園）・岩崎貴也（お茶の水大・理）・永野 惇（龍谷大・農）・瀬戸口浩彰（京都大・院・人間環境）・井鷲裕司（京都大・院・農）・副島顕子（熊本大・院・先端科学）・伊藤元己（東京大・院・総合文化）
- PG25 生薬基原植物の分子同定～佐渡の特産サドオケラは生薬ソウジュツの基原か!?～
長岡颯希*（摂南大・薬）・伊藤 優（摂南大・薬）
- PG26 スズムシソウ（ラン科）の菌共生成立過程に関与する遺伝子の探索
堤 千絵*（科博・植物）・片山なつ（千葉大・理）・小木曾映里（科博・分子センター）
- PG27 MIG-seq データによる高山植物ハクサンイチゲの北方起源の検証
藤井紀行*（熊本大・院・先端科学）・陶山佳久（東北大・院・農）・廣田 峻（大阪公立大・植物園）・副島顕子（熊本大・院・先端科学）・竹下香織（熊本大・院・先端科学）・池田 啓（岡山大・資源植物研）
- PG28 ホタルイとロックイ（カヤツリグサ科ホンガタホタルイ属）の新雑種
廣内誠（京都大・理）・松岡成久（兵庫県植物誌研究会）・高橋晃太郎（京都大・院・理）・比嘉魁人（京都大・院・理）・田村実（京都大・院・理）・布施静香*（京都大・院・理）
- PG29 日本とタイに共通して分布するカヤツリグサ属（カヤツリグサ科）各種の分類学的問題点
高橋晃太郎*（京都大・院・理）・Sawita Yooprasert（タイ・BKF）・Sukontip Sirimongkol（タイ・BKF）・Manop Poopath（タイ・BKF）・新宅和憲（京都大・院・理）・布施静香（京都大・院・理）・田村 実（京都大・院・理）

3月3日 口頭発表（発表賞対象 A01~A23、一般 A24~A25）

09:55-10:00 ● 開会挨拶

10:00-10:15 **A01** シダ植物に関する新しいコミュニティ主導型分類体系

ニッタ ジョエル*（東大・院・新領域）

10:15-10:30 **A02** ヒカゲノカズラの根の特徴から推定する小葉類の地下器官の進化

伊藤雄氣*（大阪公立大・植物園）・藤浪理恵子（京都教育大・教育）・今市涼子（日本女子大・理）・山田敏弘（大阪公立大・植物園）

10:30-10:45 **A03** 高自殖性をもつハナヤスリ科オオハナワラビ属 2 倍体種群の分類学的検討

石井壮佑*（千葉大・院・理）・海老原淳（科博・植物）・廣田 峻（大阪公立大・植物園）・陶山佳久（東北大・院・農）・佐橋紀男（元東邦大・薬）・綿野泰行（千葉大・院・理）

10:45-11:00 **A04** 日本の亜熱帯地域に生育するシダの独立配偶体—南太平洋地域に分布するシダ植物は八重山諸島へ到達しう—

米岡克啓*（都立大・牧野）・藤原泰央（都立大・牧野）・山本武能（琉球大・熱生研）・内貴章世（琉球大・熱生研）・海老原淳（科博・植物）・村上哲明（都立大・牧野）

11:00-11:15 **A05** New insight into hybridization event in *L. japonica* and related species with special reference to physiological characteristics

Yuri Lee*（新潟大・院・自然）・廣田 峻（大阪公立大・植物園）・陶山佳久（東北大・農）・志賀 隆（新潟大・自然・教育）

11:15-11:30 休憩

11:30-11:45 **A06** ネジバナの螺旋状の花序における回転方向と開度の多様性とその生態的帰結

濱田若夏子*（千葉大・院・融合）・高橋佑磨（千葉大・院・理）

11:45-12:00 **A07** ヒメノヤガラ（ラン科ヒメノヤガラ属）集団間の花形質と繁殖特性の検討

佐々木晴大*（福島大・院・理工）・山下由美（福島大・理工）・山ノ内崇志（福島大・理工）・黒沢高秀（福島大・理工）・遊川知久（国立科博・植物園）

12:00-12:15 **A08** 岡山県産広義マムシグサを対象とした訪花キノコバエ相に基づく隠蔽種の探索

松本哲也*（岡山大・院・環境生命）・平松勅悦（岡山大・院・環境生命）・柿嶋 聡（科博・分子セ）・宮崎祐子（岡山大・院・環境生命）・末吉昌宏（森林総研）・廣部宗（岡山大・院・環境生命）

12:15-12:30 **A09** 葉緑体 DNA からみるウスバサイシン節の種間および種内の遺伝構造

新 真澄*（筑波大・院・山岳）・伊東拓朗（東北大・植物園）・尾関雅章（長野県・環境研）・牧 雅之（東北大・植物園）・津田吉晃（筑波大・MSC 菅平）

12:30-12:45 **A10** 全ゲノム解析で紐解くスミレ科オオバキスミレ群の適応放散史

渡辺 蒔*（京大・院・人環）・瀬戸口浩彰（京大・院・人環）・いがりまさし（MAPLART）・堀江健二（旭川市北邦野草園）・内藤 健（国立農研機構）・坪井勇人（白馬五竜高山植物園）・長澤耕樹（京大・院・人環）・増田和俊（京大・院・人環）・渡辺洋一（千葉大・院・園芸）・藤井紀行（熊大・院・先端科学）・高橋大樹（東北大・院・農）・矢原徹一（QOU）・沢 和浩（フロラ山形）・Andrey E. Kozhevnikov（FSC, Russia）・Zoya V. Kozhevnikova（FSC, Russia）・Hyoung-Tak Im（CNU, South Korea）・Su-Kil Jang（GWN, South Korea）・陶山佳久（東北大・院・農）・松尾 歩（東北大・院・農）・石川直子（大阪公立大・植物園）・阪口翔太（京大・院・人環）

12:45-13:45 昼休み [60 分]

13:45-14:00 **A11** 海洋島における雌雄異株化のゲノム基盤：小笠原産ムラサキシキブ属での検証

増田和俊*（京都大・院・人環）・瀬戸口浩彰（京都大・院・人環）・長澤耕樹（京都大・院・人環）・鈴木節子（森林総研）・久保田涉誠（株式会社ファスマック）・佐藤 真（株式会社ファスマック）・阪口翔太（京都大・院・人環）

- 14:00-14:15 **A12** 日本列島におけるハマウツボとオカウツボの系統解析
西村明洋* (京大・院・理)・高山浩司 (京大・院・理)
- 14:15-14:30 **A13** 沖縄島産アキカラマツ(キンボウゲ科)の分類群学的再検討
道本佳苗* (東北大・院・生命)・阿部篤志 (沖縄美ら島財団)・横田昌嗣 (琉球大・理)・藤井伸二 (人間環境大・環境科学)・高橋大樹 (東北大・農)・柿嶋 聡 (科博・分子セ)・游旨价 (中国科学院・西双版纳熱帯植物園)・伊東拓朗 (東北大・植物園)・牧 雅之 (東北大・植物園)
- 14:30-14:45 **A14** ミヤコグサ (*Lotus japonicus*) と *L. burtii* の間における花色分化機構の探索
番場 大* (東北大・院・生命)・和久 渉 (東北大・院・生命)・佐藤修正 (東北大・院・生命)
- 14:45-15:00 **A15** 日本産ヒメタヌキモの分類学の実体の解明：形態変異及び遺伝的変異と種間交雑の関係
鈴井朋弘* (新潟大・院・自然)・加藤 将 (新潟大・教育)・廣田 峻 (大阪公立大・植物園)・陶山佳久 (東北大・院・農)・志賀 隆 (新潟大・教育)
- 15:00-15:15 **休憩**
- 15:15-15:30 **A16** 東アジアにおける塩生植物フクドの集団遺伝構造
江田悠河* (京大・院・人環)・阪口翔太 (京大・院・人環)・長澤耕樹 (京大・院・人環)・増田和俊 (京大・院・人環)・永野 惇 (龍谷大・農)・陶山佳久 (東北大・農)・廣田 峻 (東北大・農)・高橋大樹 (東北大・農)・Hyeok Jae Choi (昌原大)・Pan Li (浙江大)・Qingxiang Han (枣庄学院)・山下 純 (岡山大・植物研)・黒田有寿茂 (兵庫県立大・自然・環境科学研)・瀬戸口浩彰 (京大・院・人環)
- 15:30-15:45 **A17** 日本列島における超塩基性岩型アキノキリンソウの平行進化の検証
高添清登* (京大・院・人環)・瀬戸口浩彰 (京大・院・人環)・永野 惇 (龍谷大・農, 慶應義塾大・先端生命科学)・石川直子 (大阪公立大・植物園)・堀江健二 (旭川市北邦野草園)・伊藤元己 (東大・院・総合文化)・阪口翔太 (京大・院・人環)
- 15:45-16:00 **A18** アポイハハコの正体
片岡利文* (都立大・牧野)・米岡克啓 (都立大・牧野)・藤原泰史 (都立大・牧野)・廣田峻 (大阪公立大・植物園)・陶山佳久 (東北大・農)・矢原徹一 (九州オープンユニバーシティ)・村上哲明 (都立大・牧野)
- 16:00-16:15 **A19** 礫河原環境に特異的に生育するカワラハハコの起源を探る
保尊大志* (東北大・院・生命)・伊東拓朗 (東北大・植物園)・中村 剛 (北大・植物園・環境科学)・藤井伸二 (人間環境大・環境科学)・高橋大樹 (東北大・農)・陶山佳久 (東北大・農)・牧 雅之 (東北大・植物園)
- 16:15-16:30 **A20** サワシロギクの蛇紋岩適応と微生物作用～植物炭疽病菌は敵か、味方か～
林 雅貴* (大阪府大・院・理)・仲野慶大 (大阪府大・理)・阪口翔太 (京大・地球環境)・福島慶太郎 (福島大・食農)・石川直子 (大阪公立大・院・理)・井鷲裕司 (京大・農)・陶山佳久 (東北大・農)・伊藤元己 (東大・院・総合文化)・西野貴子 (大阪公立大・院・理)
- 16:30-16:45 **休憩**
- 16:45-17:00 **A21** 日本産タンポポ属 (*Taraxacum*) の系統と無融合性複合体の表現型多様性
龍見瑞季* (大阪府大・院・理)・中村剛士 (大阪府大・院・理)・毛利 陽香 (お茶の水大・理)・鈴木 武 (兵庫県立大)・森田竜義 (新潟大)・岩崎貴也 (お茶の水大・理)・西野貴子 (大阪公立大・院・理)
- 17:00-17:15 **A22** 沖縄本島における生葉上地衣類の多様性と自然・人為環境による地域差
宮澤研人* (筑波大・院・理工情報生命)・大村嘉人 (科博・植物)
- 17:15-17:30 **A23** 隔離分布植物ヤチャナギに特異的な微小菌類2種の分布および遺伝構造の解明
栃原行人* (科博・植物)・柿嶋 聡 (科博・分子セ)・細矢 剛 (科博・植物)

- 17:30-17:45 A24 子実体形態の進化と外生菌根性の進化がハラタケ綱菌の種多様化に及ぼす影響の評価
佐藤博俊* (京大・院・人環)
- 17:45-18:00 A25 日本産地衣類トコブシゴケ属 *Cetrelia* の分類学的再評価
大村嘉人* (科博・植物)・姉崎智子 (群馬県博)・宮澤研人 (筑波大・院・理工情報生命)

3月4日 口頭発表 (一般 B01~B13)・総会・授与式・受賞講演・懇親会

- 09:30-09:45 B01 植物のDNAバーコーディングの現状と展望: UNITE の利用
伊藤元己* (東大・駒場博物館)・石神 唯 (University of Tartu, Estonia)・Kessy Abarenkov (University of Tartu)・Urmas Kõljalg (University of Tartu)
- 09:45-10:00 B02 スナヅルとケスナヅルは区別すべきか—茎の毛の比較と分子データを用いた解析に基づく分類考察—
國府方吾郎* (科博・植物)・柿嶋 聡 (科博・分子セ)・石井千賀子 (科博・植物)・Kou-Fang Chung (台湾中央研究院)・横田昌嗣 (琉大・理)
- 10:00-10:15 B03 ミヤコグサにおける一年生・多年生の種内多型と適応進化
若林智美* (奈良先端大・バイオ)・田中幸子 (基生研・共生)・Stig U. ANDERSEN (Aarhus 大)・池田 啓 (岡山大・資源生物)・加藤 晃 (奈良先端大・バイオ)・川口正代司 (基生研・共生)・佐藤修正 (東北大・院・生命)・瀬戸口浩彰 (京大・院・人環)
- 10:15-10:30 B04 一斉開花するコダチスズムシソウと毎年開花するオキナワスズムシソウの繁殖干涉
西田佐知子* (名古屋大・博)・内貴章世 (琉球大・熱生研)・柿嶋 聡 (科博・分子セ)
- 10:30-10:45 B05 小笠原固有ノボタン属の系統と集団ゲノム解析
小林千浩* (京都大・院・理)・井鷲裕司 (京都大・院・農)・小牧義輝 (東大植物園)
- 10:45-11:00 休憩
- 11:00-11:15 B06 小笠原産タブノキ属植物の多様化と分化に関する考察
常木静河* (愛教大・生物)・鈴木節子 (森林総研・生態遺伝)・加藤英寿 (都立大・牧野)・村上哲明 (都立大・牧野)
- 11:15-11:30 B07 遺伝的多様性を考慮した小笠原諸島固有種タイヨウフウトウカズラの生息域内・域外保全
瀬戸口浩彰*・阪口翔太 (京大・地球環境)・川喜多遥菜 (京大・人環)・井鷲裕司 (京大・農)・茂木雄二 (茂木永楽園)・葉山佳代 (小笠原環境計画)
- 11:30-11:45 B08 日本産ハルリンドウの分類学的再検討
早瀬裕也* (富山県中央植物園)・大原隆明 (富山県中央植物園)・神戸敏成 (龍谷大・農)・田川一希 (宮崎国際大・教育)・芹沢俊介 (愛知みどりの会)・渡邊幹男 (愛知教育大・生物)
- 11:45-12:00 B09 高山型ダイヤモンドソウの実体を探る; 日本アルプス集団の進化的起源
孫田佳奈* (富山県立大・工)・池田 啓 (岡山大・植物研)・永野 惇 (龍谷大・農 / 慶應大・IAB)・瀬戸口浩彰 (京都大・院・人環)
- 12:00-12:15 B10 核・葉緑体領域の比較からみたシベリアアイワブキと近縁種の遺伝構造
福田知子* (三重大・共通教育)・石川直子 (大公大・植物園)・Chernyagina O.A. (太平洋地理学研)・Barkalov V.Yu. (生物土壌研)・Taran A.A. (サハリン植物園)・Yakubov V.V. (生物土壌研)・Marchuk E.A. (ウラジオ植物園)・Linnik E.V. (国後保護区)・玉木一郎 (岐阜県アカデミー・植物)
- 12:15-13:15 昼休み [60分]
- 13:15-13:30 B11 アオミドロ属 *Spirogyra parvula* のゲノム解析から探る接合藻類単細胞化と遺伝子喪失
西山智明* (金沢大)・池谷仁里 (神戸大)・高野智之 (神戸大; 東京大)・坂山英俊 (神戸大)・関本弘之 (日本女子大)

13:30-13:45	B12 網羅的発現解析と全ゲノム比較に基づく極限植物ヤマタヌキランの低 pH 耐性遺伝子の探索 長澤耕樹* (京大院・人環), 瀬戸口浩彰 (京大院・人環), 内藤 健 (農研機構), 永野 惇 (龍谷大, 慶應義塾大), 石川直子 (大阪公大・植物園), 阪口翔太 (京大院・人環)
13:45-14:00	B13 溪流沿い植物の種分化ゲノミクス: 沖縄産 <i>Solidago</i> 属での狭葉化・交配前隔離の遺伝的基盤を探る 阪口翔太* (京大・院・人環), 石川直子 (大阪公大・植物園), 阿部篤志 (沖縄美ら島財団), 瀬戸口浩彰 (京大・院・人環), 高橋大樹 (東北大・院・農), 永野 惇 (龍谷大・農, 慶應大・先端生命), 牧雅之 (東北大・植物園), 喜屋武隆太 (東北大・植物園), 伊藤元己 (東大・院・総合文化)
14:00-14:15	休憩
14:15-15:15	● 総会
15:15-15:40	● 学会賞授与式
15:40-15:50	休憩
15:50-16:30	■ 学会賞受賞講演 陸上植物の多様性をどう理解するか 長谷部光泰 (基礎生物学研究所)
16:30-17:00	■ 奨励賞受賞講演 日本列島の植物多様性に分子生態学的アプローチから迫る 高橋大樹 (東北大・農)
17:00-17:30	■ 奨励賞受賞講演 残雪や氷河を彩る氷雪藻類の多様性解明に向けて 松崎 令 (国立環境研・生物多様性)
17:30-18:00	休憩
18:00-20:00	● 懇親会

3月5日 口頭発表 (一般 C01~C12)・公開シンポジウム

09:30-09:45	C01 形態から見たアカソ類の分類 芹沢俊介* (愛知みどりの会)
09:45-10:00	C02 再発見により明らかとなったヤマグチテンナンショウの正体 柿嶋 聡* (科博・分子セ)・末吉昌宏 (森林総研)・大野順一 (静岡県)・星山耕一 (静岡県)・杉江喜寿 (山口県博)・山根文人 (山口県)・奥山雄大 (科博・植物園)
10:00-10:15	C03 ヒルムシロ属新雑種と複数の北海道新産種を含む茨戸川の水生植物相 中里清孝 (北海道大・農)・山崎真実 (札幌市博物館活動センター)・中村 剛 (北海道大・植物園・環境科学院)・首藤光太郎* (北海道大・総合博物館)
10:15-10:30	C04 オモダカ科サジオモダカ属の分子系統 伊藤 優* (摂南大・薬)・田中法生 (科博・植物園)
10:30-10:45	C05 イグサ栽培品種の起源の考察と野生集団の系統地理学的研究 後藤菜那* (熊本大・院・自然科学)・木原久美子 (熊本高専・生産システム工学系)・副島頭子 (熊本大・院・先端科学)
10:45-11:00	C06 エンレイソウ研究は北海道から本州へ 堀井雄治郎*
11:00-11:15	休憩

11:15-11:30	C07	コケ植物セン類キンチャクゴケの再発見と分類学的帰属 井上侑哉*（科博・植物）
11:30-11:45	C08	日本産エダウチホングウシダ属倍数体の再検討 海老原淳*（科博・植物）・梶原秀高（大阪自然史博・外来研究員）・中藤成実（所属なし）
11:45-12:00	C09	ブナの種子食昆虫相：日本海側と太平洋側の地域間比較 山田明史*（都立大・牧野）・米岡克啓（都立大・牧野）・菊地波輝（都立大・動物系統）・藤原泰央（都立大・牧野）・村上哲明（都立大・牧野）
12:00-12:15	C10	No ecological niche differentiation across the extensive range in the arctic-alpine genus <i>Phyllodoce</i> Ryutaro Koda* (Tokyo Metropolitan University), Tao Fujiwara (Tokyo Metropolitan University), Hajime Ikeda (Institute of Plant Science and Resources, Okayama University)
12:15-12:30	C11	東・東南アジアにおける樹木の展葉・開花・結実フェノロジーの緯度勾配 永濱 藍*（科博・植物）・田金秀一郎（鹿大博物館）・陶山佳久（東北大・農）・矢原徹一（QOU）
12:30-12:45	C12	奄美大島の世界自然遺産地域内外の外来種 鈴木英治*（鹿大・島嶼研）・田金秀一郎（鹿大・博物館）・鶴川 信（鹿大・農）・奥山正樹（鹿大・共同学系）
12:45-13:00		● 閉会挨拶
13:00-14:00		昼休み [60分]
14:00~		公開シンポジウム 「今身近な自然に迫る危機」
14:00-14:05		開会挨拶・趣旨説明
14:05-14:25		千葉県における野生生物の現状―自然保護行政の現場から― 小野知樹（千葉県生物多様性センター）
14:25-14:45		千葉県における侵略的外来水生植物繁茂拡大の足跡 林 紀男（千葉県立中央博物館）
14:45-15:05		千葉県手賀沼における侵略的外来水生水草の駆除活動 小倉久子（美しい手賀沼を愛する市民の連合会）
15:05-15:30		千葉県南部に発生したナルトサワギクの駆除について 小林洋生（安房生物愛好会）
15:30-15:35		休憩
15:35-15:55		房総半島のサル交雑問題 山川 央（かずさ DNA 研究所）
15:55-16:15		千葉県沿岸の磯焼けの現状 小宮朋之（千葉県水産総合研究センター）
16:15-16:35		千葉県で発生したナラ枯れについて 尾崎煙雄（千葉県立中央博物館）
16:35-17:00		質疑応答・総合討論

大会実行委員会

大会会長：綿野泰行（千葉大学 大学院 理学研究院）／実行委員長：朝川毅守（千葉大学 大学院 理学研究院）
実行委員：岩崎貴也、片山なつ、高橋佑磨、渡辺洋一、藤原泰央